

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 深町 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

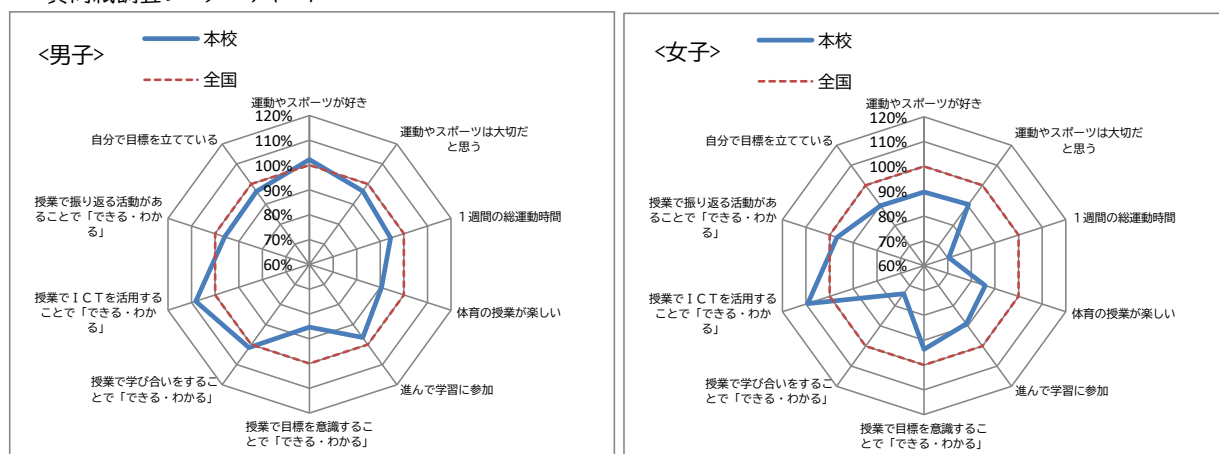
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目		○							

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目	○						○		

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本校児童は、運動に関する興味関心に対しては、男女で意識の差がある。体育の時間にいろいろな単元においてICTを活用している。そのことによって、「できたり、わかったり」することができている。しかし、授業で子供に目的意識を持たせることや授業での子供同士の学び合いについては課題があり、今後さらなる授業改善の視点となるといえる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

体育科の授業において、ICTの活用状況が良好であることを系図にして、ICTを活用した「学び合い」の場面を設定する。自分の動きを見ながら友達からの助言を手掛かりに工夫改善する活動を通して「できる」「わかる」を実感できるようにし、運動やスポーツの興味・関心を高める。また、活動時間を十分に確保していくと共に「めあて」「まとめ」「振り返り」をICTを活用して効率的・効果的に進めて、児童が「できる」「わかる」を確かめられるように授業改善を図る。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

晴れの日、朝休みの時間や、中休み、昼休みには広い運動場で遊んでいる児童が多い。委員会活動等の児童の自主的活動で、外遊びが苦手な児童も参加できるように、いろいろな学年の児童が参加して鬼ごっこをしたり、近接学年で、ドッジボール活動を行ったりして体を動かすことの楽しさを実感できるようにしている。さらに、計画的に活動時間を設定し、運動習慣の定着を図る。